

開講科目名 / Course	看護探究セミナー（学部）	
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	通年	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	4	
主担当教員 / Main Instructor	福田 広美	
担当教員名 / Instructor	福田 広美	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	演習	
科目の目的と概要	総合看護学実習等で展開した事例（事例とは個人、集団、組織、地域を含む）の看護実践を振り返り、看護理論あるいは文献に基づいて考察する。一連の思考をケーススタディとしてまとめることで、看護の対象への深い理解や看護の方法論の探究につなげる。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総合看護学実習等で実践した事例の看護の中に、焦点となるテーマを設定できる。 2. 設定テーマと自己の看護について、看護理論や文献の科学的根拠と比較することができる。 3. 設定テーマと自己の看護について、看護理論や文献の科学的根拠を通して評価できる。 4. 設定テーマへの考察を深めるために必要な議論ができる。 5. テーマに沿ったケーススタディを記述することができる。 	
DPとの対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 確かな看護の力・技術力、 2. 看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、 3. 心豊かな人間性と倫理観、 4. より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力 	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. オリエンテーション 02. ケースにおけるテーマの焦点化 03. ケースのテーマに関する文献学習（1）文献の検索 04. ケースのテーマに沿った文献学習（2）文献の講読 05. ケースのテーマに沿った文献学習（3）文献の知見の整理 06. ケースのテーマに沿った文献学習（4）文献の知見と事例実践の比較 07. ケースのテーマに沿った看護実践の考察（1） 08. ケースのテーマに沿った看護実践の考察（2） 09. ケーススタディのレポート作成（1）はじめに 10. ケーススタディのレポート作成（2）事例紹介 11. ケーススタディのレポート作成（3）看護の実践 12. ケーススタディのレポート作成（4）考察 13. ケーススタディのレポート作成（5）考察とテーマとの整合性検討 14. ケーススタディのレポート作成（6）結論・参考文献・図表 15. ケーススタディを深めるための意見交換 	
その他の授業の工夫	テーマの決定からレポート作成までの過程は、総合看護学実習の担当領域の研究室教員が学生の学習活動を支援する。	
時間外学修	<p>テーマ設定とレポート作成は担当教員と相談の上、計画的に遂行する。</p> <p>レポート作成の過程で教員に事前アポイントをとり教員の指導を受ける。</p> <p>事前学修：レポートの作成を行う（6h）。</p> <p>事後学修：レポートを指導をもとに追加修正を行う（6h）。</p>	
評価方法と評価割合	評価はケーススタディレポート（100%）。	
テキスト		
参考書	看護学生のためのケーススタディ（メヂカルフレンド社）等	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	基礎、専門、広域看護学講座教員：看護師、保健師、助産師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	ケーススタディの作成にあたり、文献講読や探求の方向性について、実務経験を活かして助言を行う。	